

2016年10月25日
株式会社エス・エム・エス

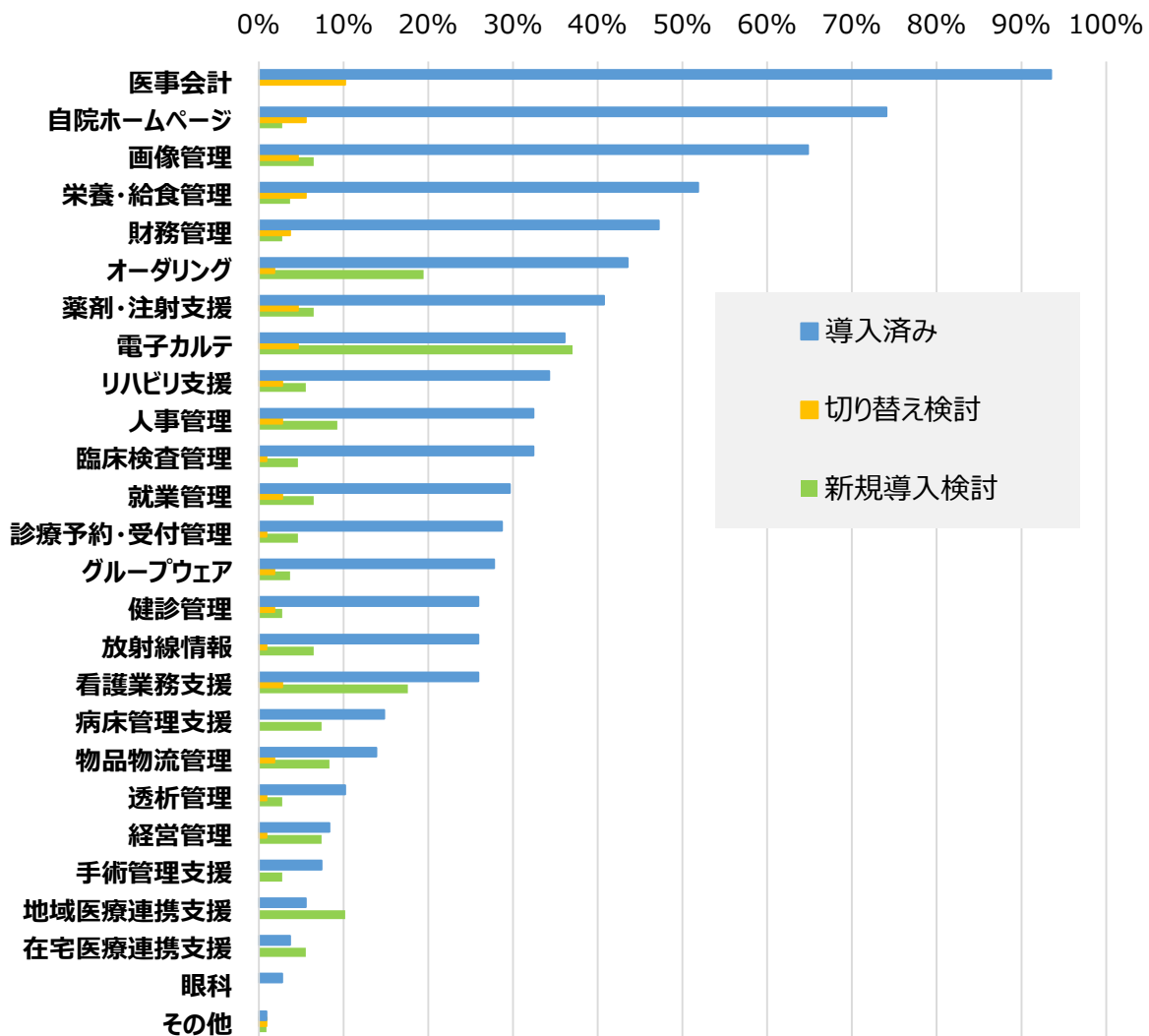
90%以上の病院がクラウドサービスの活用に肯定的と判明！
～【第4回 じむコム調べ】『医療関連 ICT 実態調査アンケート』結果レポート～

介護・医療の情報サービスを提供する株式会社エス・エム・エス(代表取締役社長：後藤夏樹、東証一部上場)は、病院事務長向け経営情報サイト「じむコム」内で『医療関連 ICT 実態調査アンケート』を実施し、108名の病院事務長より回答をいただきました。

今回の調査で90%以上の病院がクラウドサービスの活用に肯定的と判明しました。タブレットやスマートフォンなどのスマートデバイスも、30%以上の病院で導入が検討されていることがわかりました。

【第4回じむコム調べ『医療関連 ICT 実態調査アンケート』調査結果(抜粋)】

調査結果 1：医療関連 ICT システム導入状況及び新規導入・切り替え検討状況



【じむコム分析】

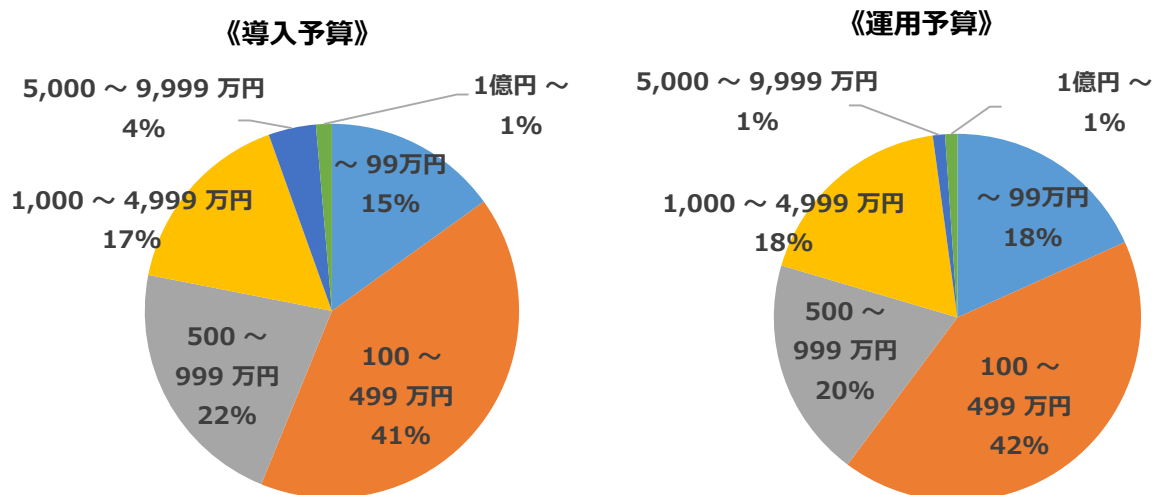
「医事会計」「自院ホームページ」「画像管理」「栄養・給食管理」「財務管理」が導入率上位5種となっています。これらのシステムは新規導入を検討している割合は低く、導入意欲が高い病院には概ね普及している状況であると考えられます。

新規導入検討上位3種は「電子カルテ」「オーダーリング」「看護業務支援」となっています。特に電子カルテは導入率よりも導入検討率の方が高くなっており、導入意欲が非常に高いことがわかります。

地域包括ケアシステムの実現に向けて必要になってくると考えられる「地域医療連携支援」と「在宅医療連携支援」については、まだほとんど導入されていないのが現状です。「地域医療連携支援」については、新規導入検討率が10.2%と上位にあがっていますが、「在宅医療連携支援」については新規導入検討率も低くなっています。

切り替え検討率はどのシステムも軒並み低く、システムの切り替えタイミングは「替えざるを得なくなった時」と回答した病院が最も多くみられたことから、最低限必要なシステムは概ね導入済みであり、一度導入したら使用が困難になるまで使い続けたいという意識がみとれます。その中で「医事会計」については、93.5%が導入済みであり、かつ10.2%が切り替え検討中となっています。医事会計システムは普及後しばらく経つことから、今まさに切り替えざるを得なくなる時期にさしかかっているのかもしれない。

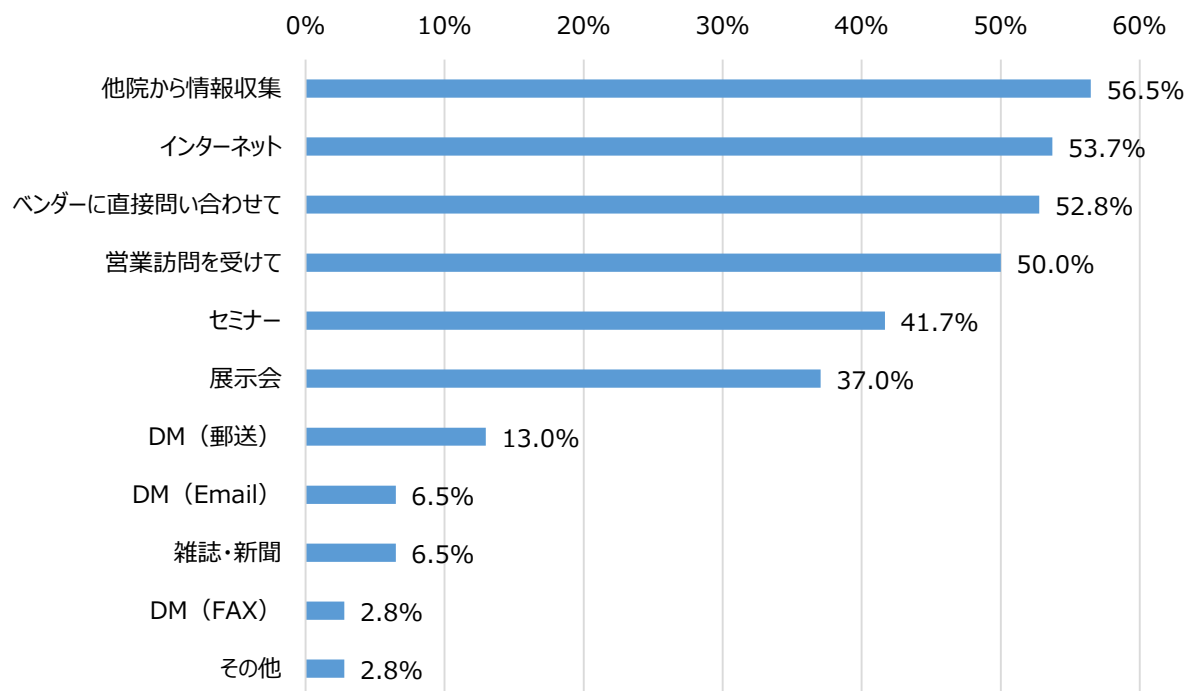
調査結果 2 : 医療関連 ICT システムの導入・運用予算について



【じむコム分析】

予算に目を向けてみますと、**年間の導入予算・運用予算共に、8割が1,000万円未満**となっています。一般的に病院向けシステムは専門性が高いため価格競争が起こりにくいと言われていますが、導入する病院側としては、システムに割くことのできる予算が少ないため、最低限必要なシステム以外の各種システムについては、普及が進みにくい構造になっていると考えられます。

調査結果 3 : 医療関連 ICT システム情報収集方法

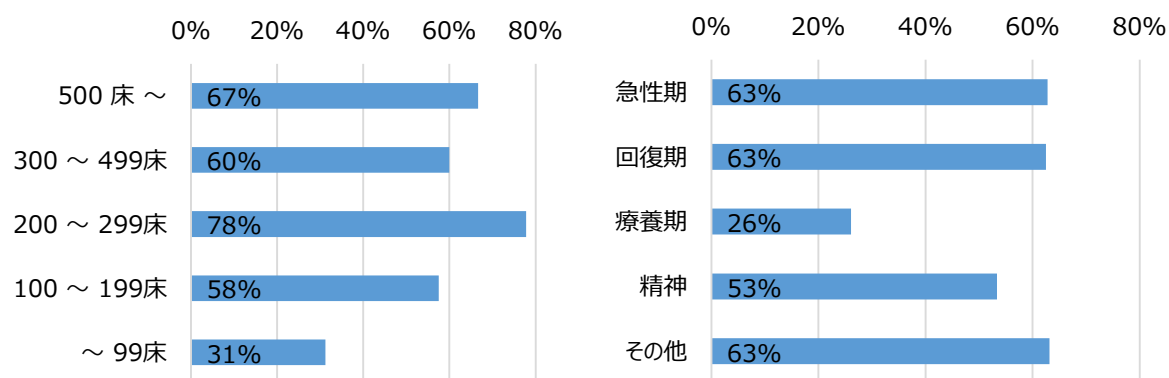


【じむコム分析】

DMなどはあまり参考にされておらず、能動的に情報を取得しにしていることがわかります。他院からの情報収集が最も多いことから、利用者のリアルな意見を聞きたいという需要があることがわかります。

調査結果 4 : 情報システム担当者の設置有無について

■ 情報システム担当者設置率

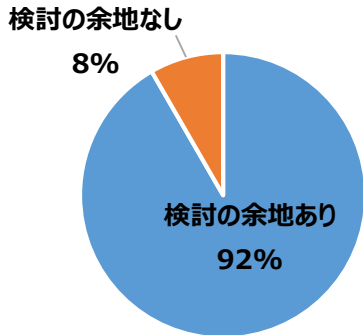


【じむコム分析】

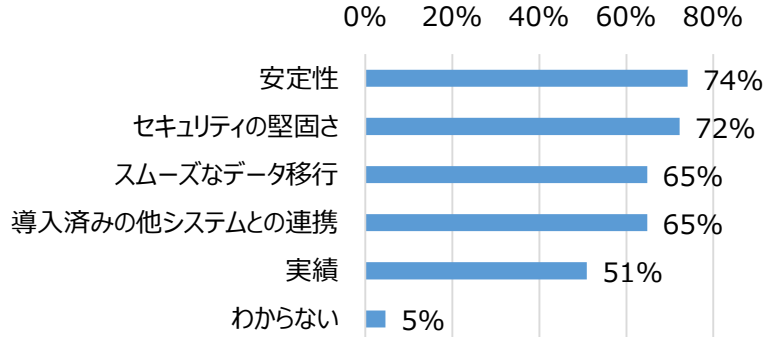
情報システム担当者の設置有無を病院の規模別にみると、100床未満の病院での設置率は31%に留まっていることがわかります。病院機能別にみると、療養期病院での設置率が特に低く、26%のみであることがわかりました。なお、情報システムの導入状況と担当者の設置状況には目立った相関関係はみられませんでした。

調査結果 5：無料クラウドサービスの導入可能性

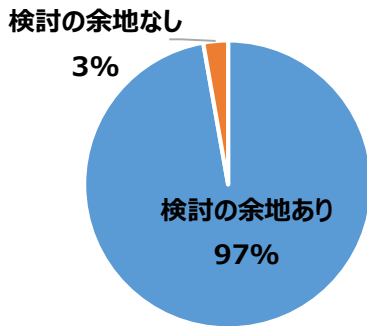
《電子カルテ》



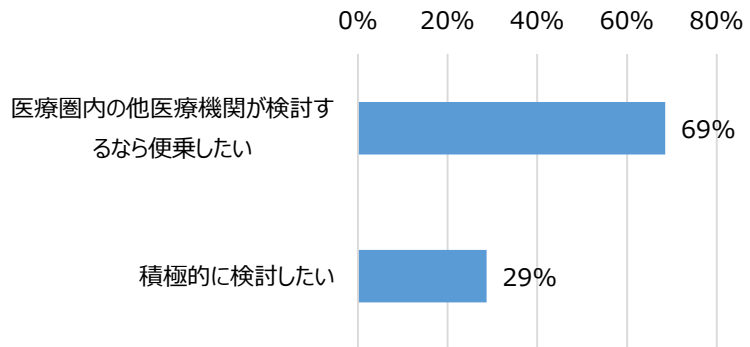
導入にあたって求める要件



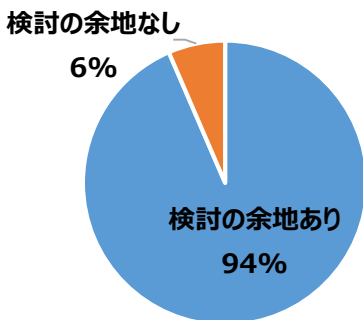
《地域連携支援》



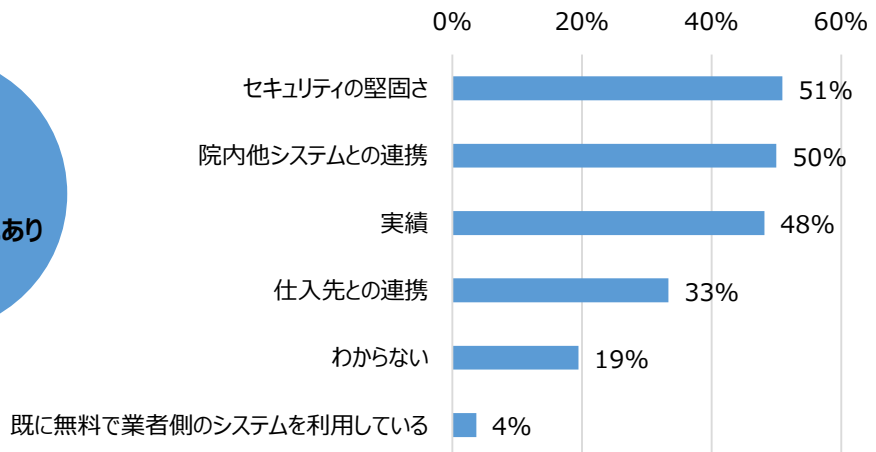
導入の検討程度



《栄養・給食管理》



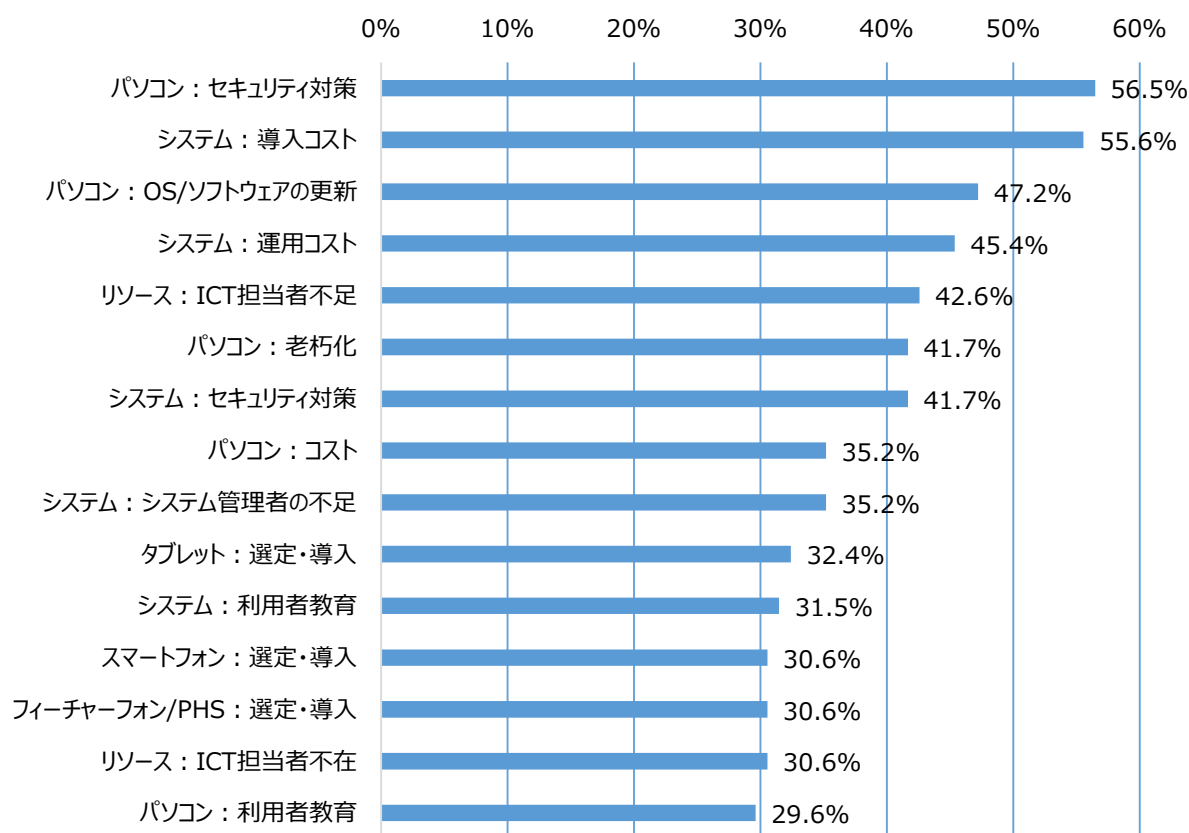
導入にあたって求める要件



【じむコム分析】

どのシステムにおいても「**検討の余地あり**」が**90%以上**を占め、無料であることや、クラウドサービスであることに強い抵抗感はないことがわかります。しかし、実際に導入を検討するにあたっては、安定性やセキュリティはもちろん、他病院での実績も求められています。先陣を切って実績をつくる医療機関や事業者の存在が鍵になりそうです。他システムとの連携をどのように実現していくかというテーマも難易度が高いでしょう。

調査結果 6：医療関連 ICT 全般に関する悩みごと(上位抜粋)



【じむコム分析】

パソコンのセキュリティ対策が最上位の悩みごととなっています。パソコンに関しては、OS/ソフトウェアの更新・老朽化・コストも上位に挙がっていることから、導入済みのパソコンが古くなってきており、今後どのような方針でアップデートしていくか、早急に検討すべきタイミングになっていることが推測されます。

タブレット・スマートフォン・フィーチャーフォンの選定・導入については、それぞれ30%以上が悩んでいると回答し、医療分野でも積極的にスマートデバイスを活用しようという動きがみとれます。パソコンからの切り替えも含めて、今後どのデバイスを主に使用していくかという視点で、選定・導入を進めていることが推測されます。

また、システムの導入コスト・運用コストについても45%以上が悩みごととして挙げており、割くことのできる予算が少ない状況下で、ICT化を進めていく難しさが浮き彫りとなっています。

【第4回じむコム調べ『医療関連 ICT 実態調査アンケート』調査概要】

調査対象：病床数20以上の医療機関に勤務する事務長

調査期間：2016年7月21日(金)～2016年8月14日(日)

調査方法：インターネット調査

有効回答数：108名

【じむコムについて】

「じむコム」は病院事務長向けに特化した経営情報サイトです。2014年から運用を開始し、現在全国にある約8,500病院のうち、20%以上の病院事務長に会員となっていていただいております。経営上発生する課題に対して業界のプロが回答するQ&A機能を中心に、病院事務長の実務を多方面から支援しています。

「じむコム」サイトはこちら → <http://sms.jim-com.com/>



【株式会社エス・エム・エスとは】

2003年創業、2011年東証一部上場。「高齢社会に適した情報インフラを構築することで、価値を創造し社会に貢献し続ける」ことをミッションに掲げ、介護・医療・ヘルスケアなどの領域で「高齢社会×情報」を切り口にした40以上のサービスを開発・運営しています。

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社エス・エム・エス（東京都港区芝公園2-11-1 住友不動産芝公園タワー）

・取材・報道について

広報グループ 平島（ひらしま）

電話：03-6721-2404 E-mail：smsinfo@bm-sms.co.jp

URL：<http://www.bm-sms.co.jp/>

・「じむコム」について

医療経営プラットフォーム事業部 小川（おがわ）

電話：03-6721-2441 E-mail：info@jim-com.com

URL：<http://sms.jim-com.com/>

以上